

八重山諸島石垣島から得られたモンガラカワハギ科の稀種ソコモンガラ

松尾 怜¹・日比野友亮²

Author & Article Info

¹和歌山県庁東牟婁振興局農林水産振興部（新宮市）

e.vivipara@gmail.com (corresponding author)

²北九州市立自然史・歴史博物館（北九州市）

yusukeology@gmail.com

Received 09 January 2021

Revised 12 January 2021

Accepted 13 January 2021

Published 13 January 2021

DOI 10.34583/ichthy.4.0_9

Rei Matsuo and Yusuke Hibino. 2021. First record of a rare triggerfish, *Rhinecanthus abyssus* (Tetraodontiformes: Balistidae) from Ishigaki Island, Yaeyama Islands, Japan. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 4: 9–11.

Abstract

A single specimen (145.9 mm SL) of a rare triggerfish, *Rhinecanthus abyssus* Matsuura and Shiobara, 1989, was collected from Ishigaki Island, Yaeyama Islands, Japan at a depth of 130 m. This species was described based on the holotype and two paratypes collected from Kume-jima island, Ryukyu Islands, Japan. Since the original description, only one specimen has been known from Sulawesi, Indonesia. Therefore, the present specimen from Ishigaki Island is the first record of this species from the Yaeyama Islands, and is the second record from Japan based on the voucher specimen.

モンガラカワハギ科ムラサメモンガラ属魚類 *Rhinecanthus* はインド・太平洋の暖海域に広く分布し現在 7 有効種が知られている (Matsuura and Peristiwady, 2011; Fricke et al., 2021). このうちソコモンガラ *R. abyssus* は Matsuura and Shiobara (1989) により沖縄県久米島沖の水深 120–150 m から採集された標本に基づき記載された種であり、本属魚類では唯一 100 m 以深に生息するという特異な生態をもつ。本種は稀種であり、標本に基づく記録は原記載以降ではインドネシアのスラウェシ島から 1 個体が報告されたのみである (Matsuura and Peristiwady, 2011).

2020 年 9 月 26 日、八重山諸島石垣島沖の水深 130 m から 1 個体のソコモンガラが採集された。本標本は本種の八重山諸島における初記録であると同時に標本に基づく日本国内における 2 例目の記録となるためここに報告する。

材料と方法

計数と計測は Matsuura (1980) にしたがった。標準体長は体長、または SL の略記を用いた。計測にはデジタルノギスを用い 0.1 mm 単位で測定した。生鮮時の体色は KMNH VR 100293 のカラー写真 (Fig. 1) に基づいて記載した。本研究に使用した標本は北九州市立自然史・歴史博物館 (KMNH: 福岡県北九州市) に所蔵されている。

Rhinecanthus abyssus Matsuura and Shiobara, 1989

ソコモンガラ

(Figs. 1, 2)

標本 KMNH VR 100293, 145.9 mm SL, 石垣島沖水深 130 m, 2020 年 9 月 26 日, 釣り, 松尾 怜。

記載 頭部縦列鱗数 28; 体側縦列鱗数 42; 背鰭軟条数 III, 22; 臀鰭軟条数 19; 胸鰭軟条数 13. 体各部の体長に対する割合 (%): 最大体高 48.8; 臀鰭始部における体高 34.8; 頭長 41.0; 吻長 32.3; 眼径 7.6; 鰓孔長 7.2; 吻端から第 1 背鰭始部までの距離 47.0; 吻端から第 2 背鰭始部までの距離 69.2; 吻端から臀鰭始部までの距離 73.2; 吻端から腹鰭末端までの距離 68.8; 第 1 背鰭と第 2 背鰭間の距離 19.9; 第 2 背鰭基底長 24.1; 臀鰭基底長 21.1; 背鰭最長軟条 (第 5 軟条) 長 11.2; 臀鰭最長軟条 (第 4 軟条) 長 11.1; 胸鰭軟条長 13.9; 尾柄高 6.8; 尾柄長 12.5; 尾鰭長 16.8.

体は前後方向に長い卵型で側扁する。体背縁の輪郭は吻端から第 1 背鰭始部までは直線状で、わずかに下方向に凹み、第 1 背鰭始部から尾柄部にかけては上方向にゆるやかに膨らんだ弧状。体腹縁の輪郭は吻端から腰骨後端までは直線状。腰骨後端から臀鰭始部までは凹み、臀鰭始部から尾柄部にかけて下方向にゆるやかに膨らんだ弧状。体は硬く剥がれにくい鱗で覆われる。鰓孔の後方と胸鰭の上方に肥大した骨質鱗がある。腰骨の後端には可動性の鞘状鱗がある。口は端位で小さい。両顎の歯は門歯状。吻は長い。眼と瞳孔はいずれも前後方向にわずかに長い楕円形。鼻孔は 2 対で、前鼻孔と後鼻孔は近接し、眼の前縁前方に位置



Fig. 1 Fresh specimen of *Rhinecanthus abyssus* from Ishigaki Island, Yaeyama Islands (KMNH VR 100293, 145.9 mm SL).

する。鰓孔は小さく、ほぼ垂直のスリット状。鰓孔の前端は眼の後縁の直下に、後端は胸鰭始部の直上に位置する。第1背鰭始部は鰓孔の後端直上よりわずかに後方に位置する。第1背鰭は3棘で構成され、第1棘は強大。第2,3棘は第1棘と比べると細く短い。第2背鰭始部は臀鰭始部直上のわずかに前方に位置し、基底後端は臀鰭基底後端の直上に位置する。臀鰭始部は第2背鰭第3軟条の直下に位置する。第2背鰭と臀鰭の外縁の輪郭は丸みを帯びる。尾鰭は浅い二重湾入型で両葉の先端はやや尖る。尾柄部は短い。尾柄高は尾柄部の中央で最も低く、それ以降は尾鰭基底に向かうにしたがい高くなる。尾柄の側面には前を向いた小棘が4列に並ぶ。内側の2列の棘は発達して大きく、外側の列の棘は小さく弱い。胸鰭の後縁は丸みを帯び、その後端は背鰭第3棘の直下よりわずかに前方に位置する。腹部の膜状部は発達しない。

色彩 生鮮時の体色は頭部上半部と体側上半部のうち尾柄部の直前まではオリーブ色、尾柄部の直前は黄色。頭部下半部と体側下半部は白色。体腹側の肛門の直上から前方にかけて前後方向にわずかに長い楕円形の黒斑があり、その直径は眼径のおよそ1.7倍。眼の下縁から胸鰭基部にかけて鰓孔を横切る黒色の斜走帯があり、その幅は下方に向かうにしたがい広くなる。胸鰭基部の斜走帯の後縁は黄色に縁どられる。眼隔域には両眼の上縁を結ぶ3本の黒色線がある。眼、斜走帯および眼隔域の3黒色線の周囲は灰色。虹彩はくすんだ金色。瞳孔は青みがかった黒色。両唇は淡い紫色。第1背鰭第1棘は濃褐色、第2,3棘と鰭膜

は褐色。第2背鰭の基部は濃褐色。第2背鰭と臀鰭は白色。尾柄部には前後がくすんだ青白色に縁どられた黒色帯がある。尾柄部の黒色帯の後端から尾鰭基底にかけては黄色。尾鰭の鰭膜の前半は黄色で後半は白色、軟条はくすんだ黄色。胸鰭は透明。生時の色彩については備考に述べる。

備考 石垣島沖で採集された標本は背鰭軟条数が22であること、胸鰭軟条数が13であること、体側縦列鱗数が42であること、尾柄部に前後が青白色に縁どられた黒色帯があること、眼から胸鰭基部にかけて黒色斜走帯があること、および肛門の周囲に黒色斑があることなどが Matsuura and Shiobara (1989) が示した本種の識別的特徴とよく一致したことから本種に同定された。一方で Matsuura and Shiobara (1989) は本種の識別的特徴として臀鰭軟条数が20であることを挙げているが、石垣島から採集された標本は19と異なる。しかしこの差異はこれまでに得られた本種の個体数がきわめて少ないために種内の形態的変異が十分明らかになっていない可能性が高いこと、*Rhinecanthus cinereus* (Bonnaterre, 1788) を除く同属他種では臀鰭軟条数に3軟条の幅の種内変異があることから (Matsuura and Shiobara, 1989: table 1)、本研究ではこれを種内変異と判断した。

本種の日本国内からの標本は Matsuura and Shiobara (1989) が原記載で用いた沖縄県久米島沖から採集されたホロタイプおよび2個体のパラタイプの合計3個体のみが知られている。したがって本研究で記載した石垣島産の標本は本種の日本国内からの標本に基づく2例目の記録である



Fig. 2 Living condition of *Rhinecanthus abyssus* (same individual as Fig. 1).

と同時に八重山諸島からの初記録となる。また2020年3月に沖縄島沖から採集された個体が沖縄美ら海水族館で飼育されており（沖縄美ら海水族館，2020），これらの記録から本種は琉球列島に広く分布していると考えられる。国外では Matsuura and Peristiwady (2011) がインドネシア，スラウェシ島から報告しており，彼らは本種が西太平洋の熱帯域に広く分布する可能性について言及している。

本種は本属の中で唯一100 m以深に生息する種であることが知られており（Matsuura and Shiobara, 1989），本標本も石垣島沖の水深130 mから釣獲された。なお同所からはタカサゴヒメジ *Parupeneus heptacanthus* (Lacepède, 1801)，ホムラトラギス *Parapercis randalli* Ho and Shao, 2010，およびヤセアマダイ *Malacanthus brevisrostris* Guichenot, 1848 が採集されている。

本標本は生きた状態で採集されており，採集直後の生時の色彩は地色が全体に淡く，腹部白色域が側中線を上方にはるかに越えて広がる，体背側の胸鰭の後端から尾柄にかけてクリーム色からレモンイエローを帯び縦帯状をなす，背縁が藍色を帯びる，尾柄部の黒色帯の前後の縁どりが鮮やかな青白色，第2背鰭，臀鰭および胸鰭は透明と生鮮時の色彩とは異なっていた（Fig. 2）。しかし本種の生態的知見が不足しているため，これが本種の本来の生時の色彩なのか，釣りあげられたショックによる体色変化等によるものなのかは不明である。なお，本個体の死亡直前に上記の生時の色彩は急速に色褪せ，本研究で記載した生鮮時の色彩へと変化した。

謝 辞

本研究を行うにあたり多くの方々のご協力を得た。石垣市の高木佑次氏には調査に際し出船していただき，採集ポイントを案内していただくなど標本の採集について全面的にご協力いただいた。琉球大学大学院の小林大純氏，茨城県水産試験場内水面支場の外山太一郎氏，高知大学大学院の佐藤真央博士，井上裕太氏ならびに溝脇一樹氏には標本の採集と作成にご協力いただいた。国立科学博物館の松浦啓一博士には文献の入手へのご協力と標本の測定方法について適切な助言を賜った。この場を借りてこれらの方々に厚く御礼申し上げる。

引用文献

- Fricke, R., W. N. Eschmeyer and R. van der Laan (eds.). 2021. Eschmeyer's catalog of fishes: genera, species, references. <http://researcharchive.calacademy.org/research/ichthyology/catalog/fishcatmain.asp> (11 Jan. 2021).
- Matsuura, K. 1980. A revision of Japanese balistoid fishes. I. Family Balistidae. Bulletin of the National Science Museum, Series A, 6: 27–69.
- Matsuura, K. and T. Peristiwady. 2011. Second record of the rare triggerfish, *Rhinecanthus abyssus* Matsuura and Shiobara, 1989 (Actinopterygii, Tetraodontiformes, Balistidae) from Sulawesi, Indonesia. Bulletin of the National Science Museum, Series A, 37: 217–219. (https://www.kahaku.go.jp/research/publication/zoology/download/37_4/BNMNS_A370407.pdf)
- Matsuura, K. and Y. Shiobara. 1989. A new triggerfish, *Rhinecanthus abyssus*, from the Ryukyu Islands. Japanese Journal of Ichthyology, 36: 315–317. (https://www.jstage.jst.go.jp/article/jji1950/36/3/36_3_315/_pdf/-char/en)
- 沖縄美ら海水族館. 2020. 稀種「ソコモンガラ」の展示を開始. 沖縄美ら海水族館ホームページ お知らせ 展示情報 2020年6月5日. <https://churaumi.okinawa/sp/topics/1591329604/> (11 Jan. 2021).